■藤原良房　　**公卿。〈承和の変〉で皇位に介入，〈応天門の変〉で政敵を追放，初の人民摂政となり，摂関家の祖になった。**
ふじわらのよしふさ
最澄空海渡唐 804＝　　藤原真作の女尚侍美都子を母に，**_藤原冬嗣の二子に生まれる。同母兄は長良。**

桓武天皇没・ 806＝ 2歳：平城天皇が即位すると，祖父の藤原内麻呂は大納言から，右大臣となり，廟堂首班となる。

嵯峨天皇即位 809＝ 5歳：同母妹順子が誕生。嵯峨天皇が即位し，故地平城京に遷った平城上皇が尚侍藤原薬子とその兄仲成らと，
薬子の変・・ 810＝ 6歳：平城太上天皇の変を起こすも征圧した結果，嵯峨天皇に信頼を得ていた父冬嗣が蔵人頭から，
・・・・・・ 811＝ 7歳：参議となり，
・・・・・・ 812＝ 8歳：祖父藤原内麻呂が死去すると，その後継者として，さらに重用され，その子として寵愛を受け，
・・・・・・ 813＝ **9歳：**同母弟良相が誕生。
凌雲集・・・ 814＝10歳：(皇親の女性と臣下の婚姻が認められていなかったため，すでに源姓となっていた)皇女潔姫を降嫁され，
天皇が朝廷の儀容を整え，漢詩文の重用で，文人から公卿に登る者まで現れるなど，文華の時代の一方，

連年の旱魃による不作と飢饉で，

弘仁格施行・ 820＝16歳：それ以前の租税未納・調庸未進をすべて免除するという非常措置を講じるほどの時代に育ち，

最澄没・・・ 822**＝18歳：**
嵯峨上皇・・ 823＝19歳：嵯峨天皇は，皇太子に譲位して上皇になった後もその権威は変わらず，

・・・・・・ 826＝22歳：**_父冬嗣が死去。蔵人に任ぜられる。**
経国集・・・ 827＝23歳：**_東宮時代の仁明の妃となった妹順子が道康親王(のちの文徳天皇)を生み，**
・・・・・・ 828＝24歳：**_従五位下に叙せられ，蔵人を去る。**
・・・・・・ 829＝25歳：**_潔姫との間に一人娘明子が誕生。潔姫以外の妻は知られず，ほかに子供も生まれていない。**
・・・・・・ 830＝26歳：**_春宮亮，**
・・・・・・ 831**＝27歳：**

・・・・・・ 833＝29歳：**_仁明の即位とともに妹順子が女御となる。本人の政治的力量と嵯峨上皇の信任や妹順子の入内などもあって急速に勢力をもつにいたり，従五位上蔵人頭から，左近衛中将従四位下と累進し，**
・・・・・・ 834＝30歳：**_参議となった。**
空海没・・・ 835＝31歳：**_7人を超えて権中納言に補せられ，従三位に叙される。太政官符や官宣旨発給は(中納言以上の)上卿の決済とされていて，祖父内麻呂は右大臣以降，父冬嗣も大納言以降ようやく太政官の筆頭公卿になるが，良房は上席に6人いるにもかかわらず，上卿として頻繁に登場し，政務に精励していることが伺える。**
遣唐使17遭難 836＝32歳：左兵衛督，
最終遣唐使帰 839＝35歳：按察使を兼ね，
・・・・・・ 840**＝36歳：**淳和上皇が死去。**_中納言となる。**
承和の変・・ 842＝38歳：***嵯峨上皇の死去で，右近衛大将となると，おそらく皇位継承の問題から春宮坊で起きた不穏な動きを利用して，伴健岑・橘逸勢らを謀反の罪で捕え，皇太子の淳和天皇第2皇子恒貞親王を廃し，順子の生んだ道康親王を皇太子にし，連座して免官となった叔父愛発の跡を受けて正三位大納言となり，民部卿も兼ねる。**
・・・・・・ 844＝40歳：按察使を兼ね，
この間，皇統一本化を成し遂げた仁明天皇は政務に精励し，君臣関係を強化して，治世を安定させるも，
円仁帰国・・ 847＝43歳：帰国した円仁から書状。橘氏公が死去すると，**_右大臣に昇り，娘明子を皇太子のもとに入内させ，**
俘囚反乱始・ 848＝44歳：**_兼皇太子傅となる。**
・・・・・・ 849**＝45歳：**従二位に叙せられる。**_太政官符や官宣旨発給の上卿を独占。**
文徳天皇即位 850＝46歳：**_良房の専横におされて病身の仁明天皇が死去し，文徳天皇が即位すると娘明子は皇后(染殿后)となり，皇子惟仁親王を出産，外祖父となるや，先例を無視して，親王をわずか生後8ヵ月で立太子させる。**
・・・・・・ 851＝47歳：正二位となり，室の潔姫には従三位，東一条第で故仁明天皇のために法華経講読。
円珍入唐・・ 853＝49歳：円珍の入唐にも尽力。潔姫に正三位が授けられた。文徳天皇，良房の染殿第に行幸し，桜花をみる。
・・・・・・ 854＝50歳：**_左大臣源常の死去に伴い，朝臣の首班となり，左近衛大将を兼ねる。**
・・・・・・ 855＝51歳：伴善男らとともに「続日本後紀」撰修が命じられ，
・・・・・・ 856＝52歳：**_室潔姫が死去したことも影響したのか，**
国守追及始・ 857＝53歳：**_気力・体力とも喪失したと2度も辞表を出すが，白鹿・木連理の瑞に因んで天安と改元されたのに合わせ，左大臣を超えて，90年ぶりに生前太政大臣に任じられ，従一位に叙される。以後，太政官符や官宣旨発給の上卿や儀礼の責任役を止めていて，関白的な地位にあったといえよう。**
人民摂政の実 858**＝54歳：*文徳天皇が後継問題で良房との対立に悩むうち，急逝。娘明子所生の9歳の惟仁親王が初の幼帝・清和天皇として即位し，良房は太政大臣として事実上の摂政をつとめることになる。**
・・・・・・ 859＝55歳：この年，大安寺僧行教が**_宇佐八幡宮を石清水に勧請するなど，天皇の保護に努め，**
鴻臚館設置・ 862＝56歳：咳逆病(インフルエンザ)が流行し始め，諸国蔓延，
・・・・・・ 863＝59歳：疫神沈静化のため，神泉苑で御霊会。天皇が良房六十賀を行う。
富士山噴火・ 864＝60歳：15歳になった清和は元服。摂政辞意を表するも認められず。天皇が良房の染殿第の花宴に臨む。さらに，富士山の噴火や阿蘇神霊池の震動と，世上騒然とするなか，**_大病に罹り，政局は不安定となる。**
これに対応するかのように染殿后明子はうつ病らしき状態となり，以後，表に出ることはほとんど無い。
・・・・・・ 865＝61歳：天皇が東宮から内裏に入るが，仁明天皇の死去以来15年ぶりになる。明年兵役の災があるとの予言に，
応天門の変・ 866＝62歳：天皇が良房の染殿第行幸。不安が収まらないなか，***応天門放火事件が勃発，有能な源信と，彼を貶めようとした自らの弟で有能な良相らへの嫌疑から，良相と組んだ最も有能な大納言伴善男を尋問へと，真相究明が進まないうちに，天皇の'天下の政を摂行せしむ'との詔を得，人臣摂政の初の摂政となる。結局伴善男に責任を負わせて配流に処し，源信，良相も没落するなか，猶子基経を従三位中納言に特進させる。**
・・・・・・ 867**＝63歳：**_弟良相が死去。
・・・・・・ 868＝64歳：**_応天門再建始まるなか，謹慎していた源信，配流されていた伴善男も死去してしまう。**
貞観格成立・ 869＝65歳：養女の高子所生の貞明親王が立太子。「続日本後紀」完成し撰上。
貞観式成立・ 871＝67歳：妹順子が死去。応天門再建なる。**_准三宮となり随身の兵仗や封戸が加増されたが，**
藤原良房没・ 872＝68歳：***流行する咳病に罹り，度者80人を賜わり，天下大赦となった後，没した。正一位を贈られた。**

今正秀「藤原良房」，「没年日本史人物事典」，「人物日本歴史館」，平凡社百科事典，日本の古典名著，